

## 1 事業概要

事業名	二島西地区 経営体育成基盤整備事業
事業場所	山口市秋穂二島
事業主体	山口県
事業期間	平成 19 年度 ~ 令和 元 年度 (西暦 2007 年度 ~ 西暦 2019 年度)
総事業費	6,146 百万円
事業目的	本地区は、山口市南部に位置し、南若川河口の左岸に展開する干拓地である。農地は比較適整形ではあるが、ほ場1枚あたりの規模が小さく排水状況も悪いため、生産性が低く、農業経営の支障となっていた。 このため、区画整理や水田高機能化を行い、農業生産法人への農地の集積・集約化を進め、大型機械の導入等による効率的な農業生産により、収益性の高い農業経営を実現するものである。
事業内容	・区画整理工 A=140.5ha

## 2 事後評価の視点

## (1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

## 【費用対効果分析】

区 分	事業採択時	計画変更時	再評価時
評価基準年	平成23年度		
事業費	5,997 百万円		
工期	H19年度 ~ H28年度		
費用便益比	B/C=1.08		

## 【要因変化の分析】

- ・費用便益費は大きく変わらない

## (2) 事業の効果の発現状況

## 【事業の効果の発現状況】

- ・地域農業の中心となる農業経営体がH20.11月に設立された。
- ・地区内の農地の98.9%が農業法人に集積された。
- ・米、麦、大豆の土地利用型作物に加えて、キャベツやタマネギ等の高収益作物を組合せ土地利用率：155%を達成した。
- ・農福連携の取組みとして、市内の事業所と契約し、キャベツやタマネギの収穫作業等の委託を行い、農業を通じた働く場の確保や地域との交流の促進を図っている。

## 【事業の効果の発現状況に対する評価】

- ・整備した農地では、本事業を契機に設立された農業法人が中心となって、収益性の高い、効率的な農業経営が行われており、事業効果は十分に発現している。

(3) 事業実施による環境の変化
<p>【変化の状況】</p> <p>① 自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物の生息・生育環境の悪化等は見受けられない。</li> </ul> <p>② 生活・住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水路の整備による水害リスクの軽減や、農道整備による生活道路の改善が図られた。</li> </ul> <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、二島地域保全会による共同活動が継続して行われている。</li> </ul>
(4) 社会経済情勢の変化
<p>【変化の状況】</p> <p>① 社会経済状況及び事業環境等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の高齢化が進んでいることから、スマート農業技術を積極的に導入し、農作業の省力化・効率化を図ることで、若者にも魅力のある農業経営に取り組んでいる。</li> </ul> <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
(5) 今後の事後評価の必要性
なし
(6) 改善措置の必要性
なし
(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性
なし

# 二島西地区 経営体育成基盤整備事業 計画一般平面図

